# 令和６年度の定例開催における火山活動の現状の評価のスケジュール及び審議内容について（案）

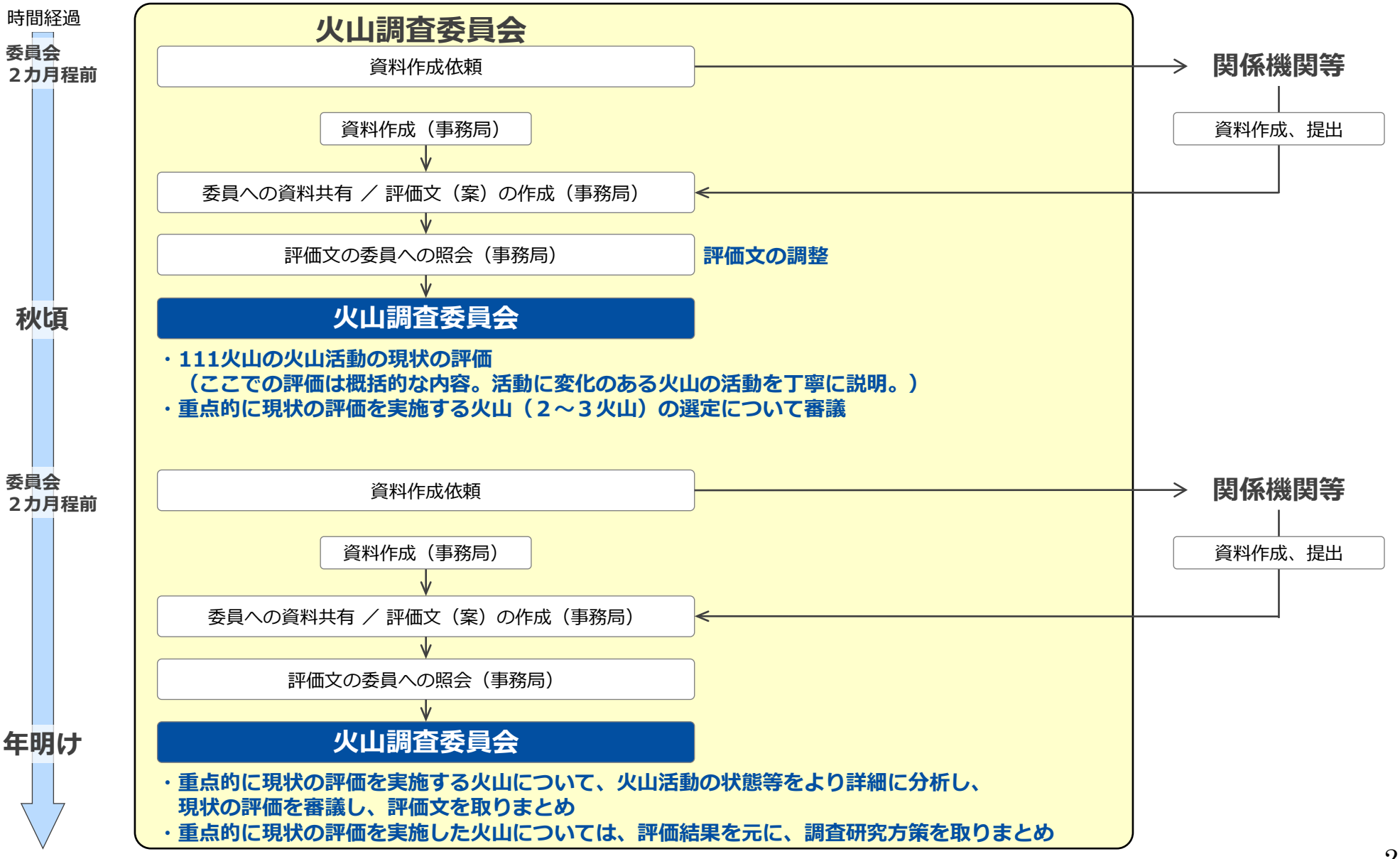
○定例開催における評価対象火山（令和６年４月 23 日 第１回火山調査委員会）
・111 の活火山の現状の評価を実施。
・当面、噴火中や火山活動に変化が見られる火山を優先して重点的に現状の評価を行う。

## ○秋頃の定例開催時の審議内容

・全国 111 の活火山について、主として関係行政機関や国立研究開発法人から収集、整理した調査観測結果の資料を用いて火山活動の状態を分析し、概括的に現状の評価を審議し、評価文を取りまとめ。
・概括的な評価を踏まえ、噴火中や火山活動に変化が見られる火山など、重点的に現状の評価を実施する火山（２～３火山）の選定について審議。

## ○年明けの定例開催時の審議内容

・秋頃の定例開催で選定した重点的に現状の評価を実施する火山について、関係行政機関や国立研究開発法人のほか、大学等の協力も得て、収集、整理した調査観測結果や研究成果等の資料を用いて、火山活動の状態等をより詳細に分析し、現状の評価を審議し、評価文を取りまとめ。
・重点的に現状の評価を実施した火山については、評価結果を元に、調査研究方策を審議し、取りまとめ。
・なお、秋頃の定例開催以降に、重点的に現状の評価を実施する火山として選定した以外の火山で火山活動の変化がみられた場合には、委員長の判断により審議対象として追加。

# 令和６年度の定例開催における火山活動の現状の評価のスケジュール（案）

○ 令和６年度の火山調査委員会は、秋頃、年明けに定例開催する。
○ 秋頃の委員会で、111火山の現状の評価を行うとともに、重点的に検討する火山（２～３火山）の選定について審議する。
○ 年明けの委員会で、重点的に検討する火山の評価を行い、当該火山の調査研究方策をまとめる。